

NPO法人 熊本まちなみトラスト
第19回理事会(180723)出欠表

本日の議案

氏名	理事会 180723 出欠	出席 人数	委任 出席 人数
1 青木勝士	×竹田副理事長		
2 麻生田栄壽	×		
3 伊藤重剛	○		
4 磯田桂史	○		
5 磯田節子	○		
6 岡裕二	○		
7 工藤栄一郎			
8 幸田亮一	×事務局長		
9 西郷正浩	×議長		
10 柴田祐	×理事長		
11 竹田宏司	○		
12 田中尚人	×		
13 鄭 一止(いるじ)	○		
14 辻 泰明	○		
15 豊永信博	○		
16 長野聖二			
17 西嶋公一	×理事長		
18 富士川一裕	○		
19 藤本秀子			
20 松波大仁	○		
21 宮野桂輔	○		
22 宮本茂史			
23 矢野和之	×理事長		
24 山田穰	○		
25 吉野徹朗			
1 荒木幸介			
2 齊藤修	×事務局長		
会員			
本田憲之助			
森 純子			
両角光男	○→×		
上野美恵子			
上農淑子			
清水照親			
内田英喜	×(辞退届)		
坂口秀二			
西島衛治			
西島真理子			
早川祐三	当方からのメール届かず		
松崎範子			
清永泰弘			
古賀元也			
濱田康成	当方からのメール届かず		
中田浩毅			
東久美子	当方からのメール届かず		
伊原登志郎			
石原靖也			
佐々木翔多			
反後人美			

◆決議事項

1. 各部会の活動方針 資料 P3
 ()内は部会長
 1 歴まち部会(伊藤)
 2 被連協部会(富士川)
 3 住友部会(竹田)
 4 アーカイブ部会(宮野)
 5 広報部会(松波)

2. 熊本まちなみトラスト8月イベント 別冊資料

◆報告事項

1. 各部会報告 被連協(清永)／住友部会 資料 P6
 アーカイブ部会 資料 P9
 2. 事業運営管理(事務局) 資料 P10
 3. 不動産のクラウドファンディング(豊永) 別用意
 4. 全国まちづくり会議2018in福岡開催のお知らせ 別冊末尾

◆前回理事会6/25(第18回)からの経緯

- 180727事務局会議／清永本店部会38
 180703清永本店部会39
 180704事務局会議
 180705石川氏(日本都市計画家協会)来熊案内
 180706清永家工務店緊急会議
 180707復興アーカーブ企画会議
 (イコモス主催／トラスト・アーカイブ部会)
 180709三井住友銀行熊本支店社屋保存活用連絡協議会
 (トラス地・住友部会)
 180711事務局会議／清永本店部会
 180716西村家住宅見学会(建築士会)
 180717清永本店部会
 180719黒瀬商店工程会議
 180720真野氏(都市計画コンサルタント)来熊案内
 180720清永本店隣蔵調査
 180721復興アーカーブ企画会議
 (イコモス主催／トラスト・アーカイブ部会)
 180722安藤先生(筑波大／宮野理事の師匠)来熊

理事 12 (＋委任状5=17)
 会員 0
 合計出席者 12 委任状出席含まず

【 歴まち部会紹介文案 】

平成 29 年 9 月 24 日に開催されたシンポジウム「歴史を活かしたまちづくり」（日本イコモス国内委員会主催／熊本市共催／文化庁、国交省はじめ熊本まちなみトラストを含む後援団体多数）において歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致維持向上計画」の策定が提案され、平成 30 年度熊本市によって同計画の策定が着手されました。熊本まちなみトラスト（KMT）は、この計画立案に共感する市民団体として、同計画の基礎となる歴史的文化的環境に知見を持つ専門家集団として日本イコモス国内委員会とともに同計画立案の応援団として活動します。

部会担当理事

○伊藤重剛、矢野和之、□鄭一止（ちよんいるじ）、竹田宏司、豊永信博、田中尚人

[○は部会長／□は部会事務局]

【 被連協部会紹介文案 】

平成 28 年熊本地震の後、熊本まちなみトラスト（KMT）は新町古町と川尻地区の被災した文化遺産の所有者と利用者呼びかけところ、同年 11 月に新町古町地区 25 人、川尻地区 9 人の所有者等の参加を得て「被災文化遺産所有者等連絡協議会」が設立され、KMT は協議会事務局を担当することになりました。翌 2017 年夏ごろまでは、熊本県熊本市へ公的支援制度創設の要望活動を続け、「平成 28 年熊本地震被災文化財等復旧復興事業補助金」制度の創設（熊本県）やワールドモニュメント財団（WMF／本部 NY）の支援等の成果が得られた後、同年秋からは清永本店や PS オランジュリ等の文化遺産に対して所有者に寄り添った建物の保存に関する支援活動続けています。特に、清永本店については週 1 回で定例化しています（清永本店部会）。

当協議会の震災直後の役割は終えつつありますが、歴まち計画の進展のなかで新たな役割が生まれるかも知れません。協議会構成員の皆様の意向を確かめながら、当面は以下の個別案件について支援を続けます。①吉田松花堂、②清永本店、③ PS オランジュリ、④塩胡椒、⑤N.H.ピュアリイ、⑥西村邸、⑦後藤商店、⑧黒瀬商店、⑨商工クラブ。

清永本店部会担当理事

○磯田桂史、富士川一裕 [○は部会長／□は部会事務局]

吉田松花堂担当理事

矢野和之、○宮野桂輔 [○は部会長]

その他の案件は当面富士川事務局長が担当

【 住友部会紹介文案 】

平成 30 年 1 月に熊本市中央区魚屋町にある三井住友銀行熊本支店が同区花畑町に移転しました。熊本まちなみトラスト（KMT）は、同支店の移転が公表された平成 29 年夏から地元自治協議会、くまもと新町古町復興プロジェクトに呼びかけ「三井住友銀行熊本支店社屋保存活用連絡協議会」を立ち上げ、同銀行への要望書の提出、社屋の保存活用を考えるフォ

ーラム、建物の価値を訴える新聞記事の投稿等のキャンペーンを行うと同時に同銀行本店との懇談、行政への協力依頼等を行ってきました。KMT 部会メンバーは同協議会構成員となっています。

同銀行支店社屋は 1934（昭和 9）年建造の全国的に希少となっている当時の銀行建築の様式をとどめると同時に、当時の熊本市の中心的商業・金融街に建つ歴史的建造物であり、「熊本の近代化遺産」（弦書房 2013 年 12 月発行）にも紹介されている。

部会担当理事

○竹田宏司、伊藤重剛、磯田桂史、磯田節子、西嶋公一、辻泰明、□富士川一裕

[○は部会長／□は部会事務局]

【アーカイブ部会紹介文案】

平成 28 年熊本地震から 2 年が経過し、新町古町地区および川尻地区では被災した文化遺産の復旧が進む一方で町屋をはじめとする文化遺産が解体され、街の中に多くの空き地が出現しています。日本イコモス国内委員会事務局長で KMT 理事の矢野氏から、全国で必ず起きる地震被災地の参考になるように熊本地震の発災から 2 年間の文化遺産の保存に関する記録作成の提案がありました。作成に当たっては、平成 30 年 4 月にイコモスメンバーを中心に企画委員会が発足しその後熊本の研究者も加えて編集会議が続けられています。KMT では、これに参加するメンバーでアーカイブ部会を立ち上げ震災復興アーカイブの作成にたずさわりますが、平成 30 年秋にこの作業が終了した後も、熊本まちなみトラストとしてのアーカイブの編集を続けます。

部会担当理事

矢野和之、○宮野桂輔、□辻泰明、磯田節子、富士川一裕 [○は部会長／□は部会事務局]

【HP 広報部会紹介文案】

広報部会は熊本まちなみトラストの活動をより多くの皆様にお知らせすると同時に、全国、そして海外で類似の活動をしている人たちとの連携や情報交換を目指す活動をしています。

その一番重要な場がこのホームページです。ここでは主に次の情報提供を目指しています。

1. 将来のイベントへのご案内。必要な事前情報の提供
2. イベント、トラスト内部の理事会・定例会・総会などの記録のご紹介
3. 1997 年の発足以来の主な活動のご紹介
4. 活動を通して作成・収集した資料の保管と閲覧
5. 関連団体やイベントなどへのご案内

このようにこのホームページは熊本まちなみトラスの活動のすべてを網羅する意気込みで充実させ行きますが、インターネット上のホームページという性格上、皆様に積極的に呼びかけることは得意ではありません。そこでこれ以外の媒体を通じての働きかけも行っていきます。

- a. フェイスブック (<https://www.facebook.com/kumamoto.trust/>)
- b. ツイッター (@km_trust)
- c. パンフレット、チラシなどの紙媒体
 - ① 熊本まちなみトラスの紹介パンフレット
 - ② 活動報告 (第一号)
- d. 新聞、テレビなどのマスメディア
- e. Youtube (ユーチューブ) 上の映像
 - ① 日本語版 https://www.youtube.com/watch?time_continue=4&v=wmw3fRDCNLE
 - ② 英語版 <https://www.youtube.com/watch?v=-LMJb66kRJU>

そして皆様と直接ご連絡ができるのが電子メールです。どうぞ以下のアドレス宛に皆様のご意見をお聞かせください。

info@kumamoto-machinami-trust.org

部会担当理事

松波大仁、吉野徹朗、富士川一裕 [は部会長 / は部会事務局]

第10回三井住友銀行熊本支店社屋保存活用連絡協議会

期 日：2018年7月9日（月）19時00分～

場 所：（株）林田印刷4階会議室

出席者：小出伸介、境正子、伊藤重剛、磯田桂史、磯田節子、辻泰明、西嶋公一、富士川一裕、
宮本茂史、竹田宏司

記 録：竹田

毛利氏が欠席のため歴史まちづくり法による法定協議会の委員として就任要請されている宮本茂史氏を参加させてほしいとの要請があり、今回から宮本氏が出席することになった。

本日は熊本大学による実測調査の進捗状況と、熊本市の歴史まちづくり（歴史的風致維持向上計画）策定に関することを議題とすることとして開会した。

1 熊本大学による調査の状況、銀行とのやり取りについて

伊藤）今のところ大学は特に動いていない。吉武氏に確認したが、銀行から連絡がないのでそのままになっているとのこと。

富士川）吉武氏から連絡してもらったほうがいい。

伊藤）8月はギリシャでの調査。大学の調査は卒論にあわせると10月から11月になるのではないか。

富士川）建物がなくなるわけではないので、そう急ぐ必要はない。

竹田）そうはいつでも買い手次第では調査ができなくなるのではないか。

富士川）銀行に本日電話で聞いてみたが、熊本の企業ということ以外はわからない。噂でもいいから知っている人はいないか。買い手が決まったら、市と一緒に地元としての応援団がつくれると思うが。大学の調査は銀行のほうからも連絡せねば、と言っておられた。

磯田桂）見学会は。

富士川）そこも微妙。調査も銀行が所有しているうちにというのが銀行の考え。見学会も同じかと思うが。

伊藤）富士川さんから銀行に吉武氏が8月はギリシャに行くことを伝え、併せて見学会についても要望を。電話だとくどくなるのでメールが良いだろう。

2 熊本市の歴史まちづくり計画について

富士川）「歴まち」の動きについては前回第9回議事録の中ごろを参照。法定協議会を立ち上げて30・31年度の2年間で、歴史的風致維持向上計画を策定し国土交通省に承認してもらうという予定のようだ。新町古町、川尻が重点地区になるらしい。

宮本）先月、開発景観課から話があった。新町の住民代表として参画するというので。市としては8月の会議の日程調整。それ以上の動きはまだ決まっていない。メンバーは古町が上村元三さん、川尻が吉村圭四郎さんほかの名簿まではもらった。

富士川）調査業務は委託発注されている。歴まちの業務を過去に受注していることが応札の条件になっていた。静岡の地域まちづくり研究所が受託。先日協力してくれと声をかけられた。いい会社で良かった。計画技術研究所という（都市計画コンサルタント）業界ではトップレベルの流れを汲む会社。今月末来熊されたら会う予定。

伊藤）トラスト理事会にお呼びしては。

富士川）市から発注しているので、大っぴらには難しいだろう。計画はなるべく市で作っていき

たいとのことだった。住友銀行を計画に（「歴史的風致形成建造物」として）入れてもらえるように提案してほしい。

宮本）上村元三さんも住友の話に加わっているし、そうするだろう。

宮本）地域としては震災の後どちらを向いてまちづくりを進めていけばいいかわからない状態だった。今あるものをどう活かして新しい新町古町を創っていくかという気概が必要だと思う。歴まちがきっかけにはなるが、住んでいる人たちの気持ちになっていかないと絵に描いた餅になってしまう。

富士川）かつては京都や金沢などの個性的な街がお手本になると思っていたが、震災の後は歴史的な景観の連続性が無くなり、空き地が増え、そこにマンションなどが建っていくと、その間に町屋が残る名古屋や大阪みたいになってしまう。しかしながら、城下町を語り継ぐというところが大都市とは違う熊本の強みかもしれない。例えば、福田病院みたいに玄関に明治初期の写真を展示したりしてファミリーヒストリーを語り継ぐとともに新茶屋跡の塀を復元しようとされたりしている。生活空間として活きている街だと思う。今回の住友銀行みたいなことが持ち上がると、勝手連的に応援団を組織する（当協議会）も（大都市では起こりにくい）熊本の都市スケール、のような気がする。ダメ、もう遅い、という人もいるが、あきらめずに取り組んでいきたい。

伊藤）そのような中で住友銀行が残る意味は大きい。

富士川）後藤商店の並び、野田市兵衛商店も会社として残そうとされている（震災復旧工事中）。後藤さんも悩んだ末に残そうと決意された（後藤商店震災復旧工事中）。それら2軒があると電車通りの東西軸の歴史的景観が保たれる。ここでもそれぞれのファミリーヒストリーを維持しながら（生活空間としての）街の個性を出していける。

宮本）歴まちの説明を（熊本市の）村上さんから受けたけれど、ハード面とともに伝統芸能や工芸、風習などのソフト面も重要な計画要素。ただ、50年以上という藤崎宮の例大祭しかない。ファミリーヒストリーもそうだけど、地域として裾野を広げて繋いでいくことが必要。

富士川）国から見れば大きな祭りしか目に入らないけれど、大小さまざまなソフトがある。復興イベントの際に新町古町おでん対決をやったが、ダシも具も新町古町地区内の製造所販売所で揃えることができた。おでんにつける辛子の替りにを辛子レンコン屋さん3店に辛子味噌を出品していただいたが、これがウケた。地域ブランドになるのではないかな。

竹田）古町、白梅天神のお祭りの辛い大根の煮物など、拾っていけば小さなものがたくさんある。

せっかく市に民俗学の専門家（竹原さん）もおられるのだから、その視点を活かしてほしい。

都市計画系だけではなく歴史や民俗の視点も加えるべき。

富士川）地元委員から参考として出していただければ計画に反映できるのではないかな。

伊藤）古写真も重要な資源。

小出）最近、五福小学校の校長先生がアルバムを発見したとの知らせがあった。小学校には古写真のストックがある可能性がある。

3 その他

- 早川倉庫の前、駐車場になっているところにあった建物（古民家）は、南阿蘇に移築して「暖浴（だんよく）」という民宿になっている。米の仲買をやっていた家（境）
- 球磨川沿いにある木造3階建ての鶴の湯旅館が再開している（竹田）あれは戦後の建物。地震の損傷もそのまま。若い人がやっているが苦戦している模様。テルサの総支配人土山さんの実家。（磯田）
- 町屋をつかって民宿という相談をうけている。商エクラブさんの支援。グループ補助金を使

- って民宿として再開。それを基軸に食事などでお金を循環させ地域の活性化に（宮本）
- 早川さんのゲストハウス426も流行っている（磯田節）
 - 市の町屋補助金を使っている家もあるのでは（富士川）
1/2補助で地震の関係。武蔵屋さん、お茶屋さん、新町会館に426も。他にも何軒か使っているようだ（宮本）
 - 玉名市の伊倉にある豪農屋敷を崇城大の秋元先生に調査に入ってもらう。価値づけとともに今後の活用まで提案したいところ（竹田）
玉名市天水の豪農屋敷は、夏ミカンの木を天然記念物に指定した。まずはそこから（竹田）
解体の危機にある武家屋敷の見学会は大雨のため延期。9月22日で調整中（竹田）
 - 小川の町屋は厳しい状況。合併後は地元のことがわからない支所長が回ってくる。合併の弊害。失われた建築は2度と戻らないということが理解されない（磯田節）

4 次回開催予定

- 9月10日（月）19:00～ 林田印刷4階会議室
- 8月はお休み。ただし動きがあればそれに応じて開催。
- 9月はお祭りの時期なので、地元は難しい。

地域文化遺産の熊本地震からの復旧復興の記録 企画会議（日本イコモス国内委員会）

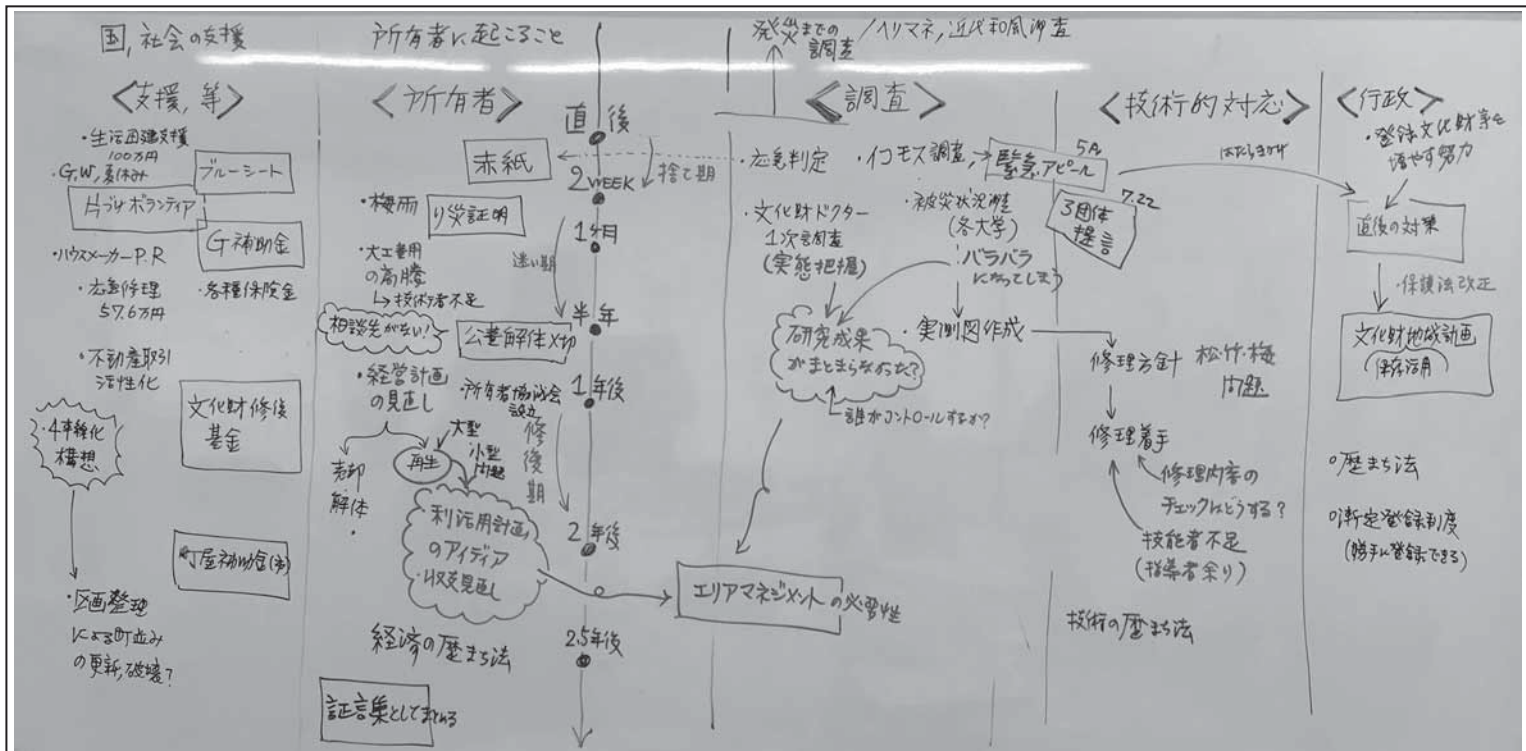
一被災文化遺産アーカイブー

▲(参加)

まちなみトラスト アーカイブ部会



2018/7/21 於：熊本大学まちなか工房 ▼板書 by MIYANO



#	事業コード			開始日	完了日	責任者	事業名称	課題検索		調査	資料収集		課題検討		課題設定		資料作成		会場設定		日時決定		許可	
[例]	4	3		5/31			第18回例会/理事会	6/21	富	-	6/21	富	-	6/21	富	6/21	富	-	-	-	-	5/31		
1	4	3		6/26			第19回例会/理事会											6/26	富			6/26		
2	4	4		7/4			事務局会議	7/4		-			7/4					7/4		7/4			-	
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								

1							歴史文化遺産の顕彰事業																
2							歴史文化遺産の保存・活用に関する事業																
	1						被災文化遺産所有者等連絡協議化に関する支援活動																
		1					リーディングプロジェクト5軒への修復費支援																
			1				第一次プロジェクト																
				1			1 塩胡椒																
					2		2 NHピュアリー																
							3 西村邸																
					2		第二次プロジェクト																
						1	1 P S オランジュリー																
						2	2 清永本店																
			2				吉田松花堂																
				3			後藤商店																
				4			黒瀬商店																
				2			町づくりビジョンの策定に関する事業																
					1		新町古町地区復興ビジョンの立案（調査研究を含む）																
					2		歴史まちづくり部会																
					3		歴史的建造物マッチング活動（城下町再生事業）																
					1		三井住友銀行熊本支店社屋の保存活用協議会の活動支援																
					4		復興イベントの開催																
						1	シンポジウム「歴史を活かしたまちづくり」																
						2	城下町を語り継ぐまちづくりフォーラム																
						3	セミナー「長浜市の町家を活かしたまちづくり」																
						4	復興イベントon the 明八橋																
						5	清永本店おかたづけワークショップ																
						6	震災2周年復興イベント「みんなで語り継ぐ」																
						7	着工を前にした交流会「P S オランジュリーのこれからを語る」																
					3		広報・出版事業																
						1	復旧・復興に関する記録（アーカイブ）の作成																
						2	ウェブメディアの作成、管理、運営																
							H P																
							F B																
							ツイッター																
						3	広報誌の作成																
							熊本まちなみトラスト紹介リーフレット																
							広報紙第一号																
						4	記録資料の作成、管理、保管、広報																
							復興ビデオ																
							過去の資料のアーカイブ																
					4		事業運営																
						1	年次総会																
						2	臨時総会																
						3	定例会・理事会																
						4	事務局会議																
						5	事例調査																
						6	運営学習																
						7	資金調達																
						8	会計																

取得	資源調達		人員手配		広報		招集		来賓招待		準備作業		事業開催		事業記録		議事作成		議事回覧		議事広報		会計		会計報告		資材返還		記録保管	
	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別
富	-		-		-		6/21	富	-		6/25	富	6/25		6/26	富			6/26	富			-		-		-			
富													7/23																	
			-		-		7/4	富	-				7/11									-								